

ラスベガスへ行ってきました！

東京支部N.G.C. 奥村 知之

LDI2014については前月号掲載の報告記事を見ていただくとして、こちらはLDI以外のツアー報告をさせていただきます。

ラスベガス＝カジノという漠然としたイメージしかもっていなかったのですが、行ってみるとそこには、エッフェル塔あり、ピラミッドあり、世界中の遺跡や建築物を再現したスケールの大きなテーマホテルが軒を連ねていました。広大なホテルの敷地内で行われる炎や水を使った無料で見られる屋外ショーから収容人数7,000人クラスの本格的な劇場で行われるショーなど、開演されているショーの数でもブロードウェイに引けを取らないラスベガスは、街中がさまざまなエンターテインメントで溢れかえる超！巨大テーマパークでした。



1/2サイズのエッフェル塔があるパリホテル



古代エジプトがモチーフのルクソールホテル

■シルク・ドゥ・ソレイユ

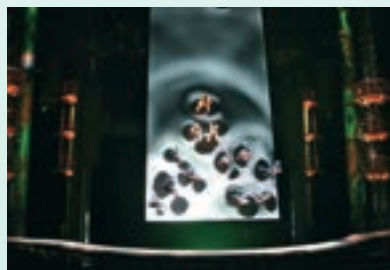
近年ではカナダのエンターテインメント集団シルク・ドゥ・ソレイユが人気を集めており、その演目だけでも現在7～8公演がそれぞれのホテルに併設された専用劇場で上演されています。時間的、予算的にすべてを観ることはできなかったのですが、選んだものは



MGMグランドホテル内にあるKAシアター入り口

MGMグランドホテルの『KA』と、ミラージュホテルの『The Beatles LOVE』でした。

シルク・ドゥ・ソレイユの中では、唯一ストーリー性のある内容でアジアを舞台にした『KA』。公演を観る前にバックステージツアーに参加して機構部分を見学したこともあり、裏方の視点からも興味深く観ることができました。



『KA』 一番の見せ場「バトルフィールド」

この公演のクライマックスシーンであるワイヤーロープを使って垂直の壁を飛び回るバトルフィールドが装置の点検中により、実演ではなく映像に置き換わっていたことが残念でしたが、一昨年の公演中に起きたシルク・ドゥ・ソレイユにとって初めての死亡事故後、このシーンが1年以上外されていたという話を聞き、安全を優先するた

め、止むを得ない措置と納得しました。



『The Beatles LOVE』

『The Beatles LOVE』はビートルズのリミックスアルバムとして知ってはいたものの、元々この演目のために製作されたアルバムだったとは知らずに観てしまったのですが、今回観たものの中では一番の感動でした。客席と一体化した空間で繰り上げられる、聞き親しんできたビートルズとの絶妙なタイミングで進行する演出の数々、ライブコンサートともミュージカルと

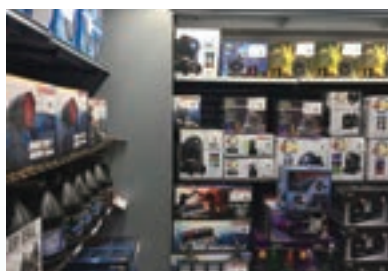
も違う味わったことのないその感動は言葉に置き換えることができません。是非ラスベガスへ行って体感してください。

■ぶらり路線バスの旅



おつりが出ないバスのチケット販売機

自由時間にバスに乗ってラスベガス市街を気ままに探索してみました。料金は購入した時間から24時間以内乗り降り自由券で8ドル。チケットはバス乗り場ごとにある自動販売機で買えましたが、20ドル札を入れたところ、おつりが出ないのでよく見ると、「EXACT CHANGE ONLY, NO CHANGE IS GIVEN」(「ピッタリの金額のみ、おつりはありません」)と書いてあったので、バスに乗ってから運転手におつりをもらおうと、拙い英語で交渉しましたが、現金では返せないとのことで24時間チケットをもう一枚もらったものの…残念ながら先ほど買ったものと同じ発券時間から24時間有効チケットでした。バスの中ではスマートフォンを手にしている人が多く、周りを覗き込んでみると、日本と同じように「LINE」をやっていることにびっくり！乗り換えのため、降りたバスターミナルでは、同じマクドナルドでホテル近くの店舗で約3ドルしたコーラが1ドル、食品スーパーで水を買おうとするとホテルで売っている1本分の値段で12本買えるなど、中心地の物価がかなりの観光地価格だったことが判明するなど、いろんな発見がありました。



ショッピングセンターの楽器店

ギターやドラムなどの楽器と一緒にムービングライトやスモークマシンが販売されていました。演奏だけではなくステージ演出にもこだわるアメリカという国のエンターテインメントの奥深さを感じます。



ダウンタウンのイベントスペース

ステージのトラスに機材が吊りっぱなしの状態で放置されている広場がありました。普段は駐車場になっているそうですが、週末には毎週さまざまなコンサートが開催されているそうです。

■LDIツアーに参加したキッカケは…

何の気なしに協会誌でツアー告知を見たときは、行ってみたいけどこの時期に1週間以上の休みを取るのとは不可能だと思いつつ、ツアー中にラスベガスで行われている公演をweb検索してみると…現在、ももいろクローバーZとのコラボレーションで話題になっているKISSのコンサートを発見！もちろんLDI参加がメインの目的ではありませんでしたが、背中を押したのは自分が高校生の頃から秘めていたアメリカでハードロックを体験したいという願望でした。即！会社のシフト担当者に頼み込んで、この時期に無謀とも思える休みをなんとか調整してもらい、貯金を切り崩して旅行代金を捻出することを決断しました。

日本公演でもハデなステージセットと演出で有名なKISSですが、目つぶ

しのミニブルのように曲に合せたタイミングで連射する炎、眩しいという感覚ではなく、熱いという感覚を刺激されながらのコンサートは初めての体験。その他、ステージから客席上部まで設置されたLEDパネル、本番中に降下してくる客席上部のブリッジに乗り移っての演奏、雪のように降り積もる大量の紙吹雪など、日本では規制されながらやっている演出の原点を堪能することができました。



ハードロックだけでなくボクシングの試合も行われるキャバ4,000人のアリーナをもつ
HARDROCK HOTEL



ステージから客席上部までつながるLEDパネル



事故かとも思えるような炎の演出

国際委員会では今年もLDIツアーを企画していますので、LDIはもちろんのこと、この仕事に就いているからには一度は行ってエンターテインメントの本場を体験してみることをお勧めします。

なお、ツアーの模様をUSTREAMで生中継したアーカイブ動画をYouTubeのNGC Tokyoページへアップしましたので、YouTubeのサイトにてNGCtokyoと検索し、ご覧になってください。